

## 普及活動情勢報告（平成26年6月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

### 春野地区で新たな露地有望品目を！！現地検討会を開催



J A高知春野管内では、露地有望品目として8戸で露地ピーマンが試作されており、5月27日に生産者6戸（8名）の出席により現地検討会が開催されました。J Aからは出荷や栽培方法について、普及所からは天敵を呼び込みやすい環境づくり（影響の少ない農薬・植生管理）について説明しました。

生産者はネットの張り方や樹勢の見方、肥培管理について熱心に検討し、栽培方法への意識統一ができました。

今後は、先進地視察や現地検討会を開催する計画であり、J Aと協力しながら栽培管理や植生管理について支援していきます。

### 貯蔵ショウガの品質安定に向けて！！㊟生姜生産組合研修会



熱心に研修を受けるショウガ生産者

㊟生姜生産組合が、5月27日に肥料・農薬等の研修会を開催し、その中で、普及所は貯蔵中のショウガの腐敗対策に向けた試験成果等を報告し、貯蔵中のガス条件と腐敗の関係を示唆しました。

生産者の関心は高く、熱心に耳を傾けてくれ、今までの地道な普及所の活動を高く評価する声が聞かれました。

今後とも、貯蔵ショウガの品質安定に向け、継続して貯蔵試験等を行うとともに、改善策への支援を行っていきます。

### 担い手確保のために！就農希望者支援体制等について勉強会



体制や制度等を勉強する参加者

J A高知春野では、産地維持のため、新規就農者の確保や育成に取り組んでいます。そこで担当者以外も知識を深めるために、6月2日、関係機関20名が参加し、研修支援体制やその関連事業等について勉強及び検討を行いました。

主催は春野地域園芸研究会で、普及所は会の企画や講師を務めました。参加者からはこの制度や法律を学習したことでより知識が深まったという声が聞かれ、さらに研修体制を今後どのように充実させていくかも協議され、課題や改善点も共有できました。

普及所では、これからも県内一のキュウリ産地を守るため、担い手確保について関係機関と連携して取り組んでいきます。

### グロリオサの球根肥大不足の原因究明に向けて！！プロジェクトチーム会



今年度計画を検討するメンバー

6月3日、グロリオサプロジェクトチーム会（PT会）を開催し、今年度の活動内容を協議しました。普及所はPT会の企画、進行を務め、球根肥大不足の解消に向けた試験として、昨年度の試験結果を踏まえた、現場での高温高湿度環境での予措の実施や、土壌消毒効果を確認することで意識統一しました。

今年度も現場や農業技術センターと連携して、現場でも取り組める有効な球根管理・栽培方法を検討し、グロリオサの品質の確保に向けた取り組みを支援していきます。

### 地域の課題を解決するために！JA出資型法人の先進事例を研究



取り組み内容を勉強する参加者

JA高知春野では、耕作放棄地の増加に伴いその対応を検討しています。その一環としてJA出資型法人の研究もしており、6月13日、JA関係者と普及所9名で、四万十町にある営農支援センター四万十株式会社の取り組みを視察しました。

普及所は視察先との調整を行い、一緒に同行し内容も調査しました。参加者から事業内容や運営について活発な質問が出され、春野町とは状況は違うものの、今後の取り組みを考える良い参考になりました。

普及所では、これからも地域の課題解決のため、関係機関と連携しながら取り組みを支援していきます。